



古石

後援会だより

URL: http://古石.com/

発行日 令和2年6月17日
古石見沢市議会事務局
TEL 26-2226

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furusato@gray-plala.or.jp

ふるさと納税19年度3割増し

2020年(令和2年)6月17日(水曜日)

ふるさと納税

ふるさと納税

ふるさと納税3割増 74億円

19年度管内サイト活用など奏功

2019年度の空知管内24市町に寄せられたふるさと納税の寄付総額は74億1436万円、前年度を約3割上った。最も金額が多かった自治体は滝川市で、初めて10億円を突破。また、20市町が前年度よりも多くの寄付を集めた。

滝川初の10億円超

24市町から聞き取りまとめた。決済が滞っていない自治体では、利用者からのキャンセルなどにより金額がわずかに変わることもあった。

空知管内24市町の2019年度ふるさと納税寄付額

Table with columns: 市町名, 件数, 金額, 前年度比増減率. Lists 24 municipalities and their respective donation statistics.

滝川市の寄付件数は管内トップの5万6438件で、金額は前年度比28.8%増の10億4633万円。主な送付品は米や青果物、シンギスカンセットで約半数を占める。ほとんどが道外からで、市の担当者は「住定住や観光PRイベント」

でもふるさと納税の紹介を「ふるさと納税」している」と話す。昨年10月には「楽天ふるさと納税」や「ふるさとチョイス」は従来の「ふるさとチョイス」に加え、昨年10月には「楽天ふるさと納税」の状況もあつた。

(期間中)

父の日 ヒマワリどうぞ 岩見沢で出荷ピーク

【岩見沢】21日の「父の日」を前に、生花用ヒマワリの道内産地となる岩見沢で出荷作業がピークを迎えている。花の大きさが8〜10センチの小輪で、葉が硬く日持ちするのが特長。ヒマワリハウス内では、生産者が1メートルの高さになったヒマワリを一本一本丁寧に切り取っている。



「父の日」を前に、出荷準備が進む岩見沢産の生花用ヒマワリ

「父の日」を前に、出荷準備が進む岩見沢産の生花用ヒマワリ。岩見沢市は、大規模なヒマワリハウスを擁する産地。今年、父の日の花として出荷している。市内では、いわさき農協熱帯フラスコ生産組合熱帯ふわり部の16戸が栽培。今年、5月上旬から11月中旬にかけて、全国各地に約40万本を出荷する計画だ。

同部会の大規模部長(43)は、9棟のハウスで生産。小輪で高さを抑えたヒマワリに仕上げたため、深さ7〜8センチの中にシートを敷き、それより深く根が張るのを抑制しながら栽培する。また、水の量を制限してヒマワリにストレスを与えないで、細かい「茎になり、日持ちもするのだ」と。大根さんは「鑑賞用や花束にするには、花の重さで垂れ下がるので硬さが必要。2週間ほど花を楽しんでもらえる」と説明する。

同部会では、需要の高い「ピュアセレクト」や「サンリッチ」を中心に約30品種を栽培。関東や関西、札幌など各地に出荷する。今年も新型コロナウイルスの影響で、本州への航空路線の減便が相次ぎ、関西への出荷が十分にできず、関東へは陸路を使っている。いわさき農協で販売を担当する遠藤大樹さん(32)は「今年は、やや小輪傾向だが、出来はまずまず」といふ。同農協によると、生花用ヒマワリの2019年の販売額は約2億円で、この10年で1億円増えた。道によくと、18年産の生花用ヒマワリの作付面積は道内全体で2017年の約1.5倍、岩見沢市内は約1.95倍と44%を占める。(中沢弘)

岩見沢市の件数は3016件と管内で下から4番目だが、市内にある日本ソーイング北海道工場が製造するオータースーツやジャケットの仕様が返礼品の9割超を占める人気が高く、寄付金額は約2.7倍の5億7000万円。担当者は「1003万円。担当者は1件の仕様の金額が高く、他市町とは違った傾向になる」と話す。市内に馬具・革製品製造販売「ソメスサドル」の本社がある砂川市も返礼品に同社の製品があり、同様の傾向を示す。また、2017年に低農薬米の生産組合が日本農業賞大賞に選ばれた北竜町は、人口1800人未満の小規模自治体ながら7.6%増の5億4866万円。返礼品に米が入っており、同町は「安心安全な米を求めている健康志向の人にふるさと納税は応じた」と自治体に寄付できる制度で、利用者は寄付額から2千円を差し引いた額に応じて減税される。

7店舗の料理1カ所です。岩見沢市内で飲食店、7店舗の料理を1カ所展開するフードクリエイトジャパンは、同社が市内で「隠れた日本食」をテーマに、料理商品専門店「アトコ」を展開する。焼鳥やすし、型どりの商品を運ぶ。新型コロナウイルスの感染拡大で、外出を控える動きが出ている。同社では、3月上旬から開始する。焼鳥やすしの商品を手配する。新商品の追加も予定している。

岩見沢駅北給食休止の3小中、住民有志、デザート提供。【岩見沢】市内の全小中学校への給食提供が休止していることを受け、JR岩見沢駅北地区の住民有志が16日、同地区の三つの小学校に昼食用の約800人分のデザートを提供した。メンバーは「昼食の時間が少しでも華やかになれば」と話す。北真小、第一小、緑中の3校のPTA役員ら25人が、購入費約12万円を出して行った。子どもたちは「アレルギーに配慮し、給食でも提供するバナナ、メロンゼリーを渡した」。

関電、旧経営陣提訴決定。前会長ら5人19億円賠償求める。【岩見沢】関電の旧経営陣に対する賠償請求訴訟の判決が、岩見沢地方裁判所で言い渡された。前会長ら5人が、関電に19億円の賠償を求めた。判決は、前会長ら5人の請求をほぼ認め、賠償額を19億1000万円とした。関電は控訴しないという。判決は、前会長ら5人が、関電の不正行為によって損害を受けたと主張した。関電は、前会長ら5人の請求を認めないとした。判決は、前会長ら5人の請求をほぼ認め、賠償額を19億1000万円とした。関電は控訴しないという。

岩見沢駅北給食休止の3小中、住民有志、デザート提供。この日は、メンバーが同地区内の商店に集まり、3校に運んだ。事業の呼び掛け人で、女性奉仕団体・国際ソロプチミスト岩見沢の杉浦真由美さん(61)は「地域の子どもたちのために」との思いで、みんながつながった。第一小の三好孝央教頭は「新型コロナウイルスの影響で子どもたちが楽しみにしていた行事の中止が相次ぐ中、『わー、お久しぶり』とみんなが喜ぶ顔が見られた」と感謝していた。市内全小中学校に給食を提供する共同調理所の調理員が新型コロナウイルスに感染し、市教委は9日から弁当を持参して昼食を提供している。(中沢弘)